

市議会だより No.34

平成26年9月1日



キャスト紹介／左から 高杉晋作役/高良健吾、吉田松陰役/伊勢谷友介、吉田松陰の妹「文」役/井上真央、久坂玄瑞役/東出昌大

二〇一五年（平成二十七年）
大河ドラマ

花燃ゆ



ほうふ花燃ゆ大河ドラマ館

平成27年1月から防府市に縁のある榎取素彦夫妻を主人公とするNHK大河ドラマ「花燃ゆ」が放送されます。

これに伴い、全国から多くの観光客が本市を訪れると期待されることから、ドラマ館の設置をはじめとする観光客の受入態勢の充実や、おもてなしの向上を図る「大河ドラマ誘客おもてなし事業」の予算が6月定例市議会に上程され、これを含む補正予算が可決されました。

6月定例議会

議案の概要 P2～P3
焦点 上下水道事業管理者の廃止 P3
一般質問 P4～P9
特別委員会の報告 P9

議会モニターからの意見 P10
議会日誌 P12
9月定例議会の予定 P12

平成26年 6月 定例議会

6月定例議会は、6月25日から7月16日までの会期22日間の日程で開かれました。

平成26年度一般会計・特別会計補正予算、市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定、水道、工業用水道及び公共下水道事業の設置等に関する条例中改正、工場等設置奨励条例中改正など、議案20件、推薦2件、選任3件、承認1件、報告20件、意見書1件を審議しました。

主な議案等と審議経過の概要をお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」は、P10をご覧ください。

条例

■市職員配偶者同行休業条例を制定

市職員の公務と家庭生活の両立支援及び中長期的視点から公務に貢献できる人材の確保を目的として、職員が身分保有のまま海外勤務する配偶者との生活のために休業できることを規定するものです。

■市税条例等を改正

地方税法改正に伴い、①個人市民税 ②法人市民税 ③軽自動車税 ④固定資産税について、税率の変更や特例の適用等の改正を行いました。(賛否No.1)

■工場等設置奨励条例を改正

用地取得奨励金の上限額が1億円から2億円へ引き上げられました。

■都市公園設置管理条例を改正

都市公園のうち、市が管理する施設に指定管理者制度を導入するため、指定管理者の基準等を定めました。

■水道、工業用水道、公共下水道事業設置等条例を改正

上下水道事業管理者を置かないこととする改正案について、反対の意見もありましたが、賛成多数で可決されました。討論については、「焦点」をご覧ください。(賛否No.2)

■議決事件に該当しない契約、財産処分

についての報告に関する条例を改正
上下水道事業管理者の職の廃止に伴い、

上下水道事業の契約や財産の処分に係る報告を市長が行うことになりました。

■教育委員会委員定数条例を廃止

これまで、法定人数の5人より1人多い6人としていましたが、このうち、1人からの辞任申出に伴い、改めて適正な定数を検討した結果、法定どおり5人とするため、条例を廃止しました。

人事・一般議案

■人権擁護委員候補者の推薦

再任 上田淑江さん(大字台道)

■副市長の選任

再任 中村 隆さん(天神)(賛否No.3)

■教育委員会委員の選任

再任 清水智恵子さん(大字大崎)

■農業委員会委員の推薦

新任 岡村幹男さん(大字台道)
新任 湯面芳恵さん(大字奈美)

■市道路線の認定及び変更

塚原2号線ほか37路線の認定、高井5号線ほか3路線の変更を行いました。

■車券自動発売払戻機、救急自動車の取得

●競輪場入場者へのサービス向上のため、レクリエーションセンターほかへ車券の自動発売払戻機8台を設置しました。

●救急業務の充実

強化のため、自動体外式除細動機(AED)と患者監視装置を搭載した災害対応特殊救急自動車を購入しました。



同型車

予算

■平成26年度一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額にそれぞれ14億9、367万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ412億6、761万4千円としました。主な事業は、次のとおりです。

●大河ドラマ誘客おもてなし事業

平成27年NHK大河ドラマ「花燃ゆ」放送決定に伴い、大河ドラマ館の設置や特別展の開催、お土産品等の開発等おもてなし向上を図る取組のほか、市内観光地へのアクセス、利便性向上のための駐車場整備や道路改修等を実施します。



防府高校南側市道

- スーパー食育スクール事業
華城小をモデル校に、食育と学力向上の相関関係について科学的データに基づき検証し、食育の一層の充実を図ります。
- 予防接種事業
妊娠を希望する人やそのパートナー等を対象に風しん予防接種費用を助成します。
- 助成回数 1人1回
- 助成金額
麻しん風しん混合ワクチン 5,000円
風しん単独ワクチン 3,000円

- 平成26年度特別会計補正予算
国民健康保険事業及び介護保険事業の2つの特別会計補正予算を原案とおりに可決しました。

報告

■市出資法人の経営状況報告

土地開発公社、社会福祉事業団、防府水道センター、文化振興財団、農業公社、地域工芸・地場産業振興センターの6つの出資法人の経営状況報告がありました。

■新型インフルエンザ等対策行動計画を作成

新型インフルエンザ等が発生した場合に市民の生命や健康を保護し、市民の生活や経済に及ぼす影響が最小となるよう市全体の体制を整備するため、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、行動計画を作成しました。

意見書

■雇用の安定・安心を求める意見書

国に対し、雇用労働者が、安定的な雇用と公正な処遇の下で安心して働くことのできる環境の整備を求める意見書が提出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。賛否の討論は次のとおりです。
(賛否No.4)

○原案に賛成

●日本経済は回復の兆しが見え始めているものの、地方労働者全てがそう感じているのではない。地方議員として地方の声を求め、トムアップしなければいけない。

●地方ではまだ景気回復の実感が乏しく、政府の労働法制改正の検討に対し、雇用、労働環境の改善への配慮を求める。

●中小企業振興基本条例検討協議会の視察で訪問した市内中小企業でも、景気が回復したとは言えないとの実情を聞いており、地方議会として、こうした意見書を出すことは当然の責務である。

○原案に反対

●当初の表題は「労働者保護ルール改悪反対を求める意見書」で、政府の成長戦略に反対したものであった。アベノミクス以降、日本経済は大きく好転し、雇用も労働環境も確実に改善しており、これを批判しても状況は良くなるまい。

●最初に提出された意見書から文言等が随分と省かれ、何を言いたいか分からない。市議会として、しっかりとした内容のあるものを提出すべきだ。

焦点

上下水道事業管理者の職の廃止

廃止案は可決されましたが、賛否の討論を紹介いたします。

■廃止案に賛成

和田敏明（改革の会） 過去の経緯はとうあれ、管理者を置かないことにより、市民に迷惑をかけるならともかく、職員

廃止案は可決されましたが、賛否の討論を紹介いたします。

■廃止案に賛成

の努力により、今までとおり市民サービスの低下させずに円滑に運営できるのであればよいと考える。平成13年以降、水道料金が上がることなく、事業経営も順調である。管理者を廃止することで削減した人件費を市民サービスに使うことができる。デメリットである市長の政治介入があるのなら、議会がチェックして正せばよい。

■廃止案に反対

山田耕治（絆） 上下水道局のトップが市長となり、人事異動や料金改定での政治的介入等が懸念され、人事権や経営権の制約も考えなくてはならない。上下水道の維持管理という大変重要な仕事のノウハウや技術力を持った職員の人材育成は必要不可欠であり、管理者を廃止すべきでなく、時間をかけて考える必要がある。

集中するべきではない。

松村学（自由民主党一心会） 膨大な市長の職務がある上、専門性が高い管理者の職務を同じ人で兼務できるのか、水道料金増など市民生活にマイナスの影響が出るのでは、と疑義が残る。多くの決裁権が市長に集中する大きな危険性がある。市長の独断で廃止論が先行し、行革委員会や庁内で分析、議論した形跡もみられない。

山本久江（日本共産党） 地方公営企業法第3条において、政治介入を排除して企業に自主独立性を持たせ、機動的に活動できる態勢が必要と規定されている。任期が平成26年6月25日までで、突如提案された感がぬぐえず、管理者の担任事務の検証をこれまで行財政改革の中で示されたこともない。広範な権限を市長に

田中健次（市民クラブ） ①この条例改正案が庁内の会議で議論されずに出され、経緯がはっきりしない。②公営企業であり、政治介入を排除し、企業の独立性を保つべきだが、それが損われることになる。③県内では、防府市より事業規模の小さい下松・光・山陽小野田市でも水道事業管理者を置いている。

Q&A

一般質問



6月定例議会では、16名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を9月中旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館でご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

中小企業の振興支援と実施状況について 観光振興での戦略について

山田 耕治(絆)

問 国の認定を受けた創業支援の具体的内容は。

市長 創業フォーラムにおいて希望者の発掘を行い、創業塾で創業へのスキル習得を図り、事業計画を完成させ、創業後もフォローアップする等、4段階の支援事業を行う。

問 国や県の補助事業との整合性は。

市長 事業計画や内容により柔軟に対応することが求められている。本市も含め国等の補助制度が活用されるよう努めたい。

問 創業支援センターのPRは。

市長 市のホームページや広報への掲載、専用のフェイスブックページ開設のほか、近日中には創業支援センター専用のホームページも開設する。

問 元気に頑張っている中小企業との連携は。

市長 経営相談や販売促進、新商品の開発など創業支援センターの活用を

図っていききたい。

問 観光に関する市ホームページの充実を図るべきでは。

産業振興部長 今後、コンテンツの充実も含め改善していききたい。

問 市ホームページに防府版の美食コレクションを掲載してみても。

産業振興部長 前向きに検討したい。

問 観光マスコットキャラクター「ぶつちー」の貸出を増やすべきでは。

産業振興部長 増やす方向で進めたい。

問 市内の各施設へ「赤ちゃんの駅」設置要請をすべきでは。

産業振興部長 公共、観光、商業施設への普及に努めたい。



スライディングディスク競技に参加するあいのふれあいふたばのハートナイスポーツ広場で、ぶつちー

「小学校6年生までの医療費無料化」と「サッカーグラウンドと美術館建設」について

山下 和明(公明党)

問 現在、本市の「乳幼児医療費助成制度」では、小学校就学前の子どもの医療費を所得制限なしで全額助成しているが、市長選挙公約では「小学校6年生まで全員医療費は無料化」を掲げている。この公約は、所得制限撤廃も含め平成27年度から実現できるのか。

健康福祉部長 乳幼児医療費の助成については、平成23年8月から所得制限を撤廃し、4歳未満の児童の医療費無料化を実施して平成24年8月には、小学校就学前まで対象を拡大した。このたび、行財政改革の成果を少しでも市民の皆様に感じていただける施策の検討を重ね、子育て家庭をさらに支援していく必要性から、この制度を小学校6年生まで拡充し、子育て支援の充実を図ることとした。県内他市に先駆けの取り組みとなるが、

平成27年度中に実施するため、準備を進めたい。

問 公約の「サッカーグラウンドと美術館建設」についてはどうか。

市長 サッカーグラウンド建設協議会の平成27年度設立に向け、庁内検討委員会を平成26年度中に設置したい。美術館も建設協議会の設立に向けて検討委員会を設置し、協議を進めたい。

その他の質問事項

◆二重投票を防ぐオンラインシステムを導入し、期日前投票所を各地域の公民館に開設して、どこの公民館でも投票できるようにしてはどうか。



天満宮周辺の緊急交通対策、「志士闊歩かるた」(「防府維新かるた」)の制作

今津 誠一(和の会)

問 新橋牟礼線等が整備されたことにより、天満宮周辺の車輛の通行量が増し、地区住民の安全・安心が脅かされている。

答 また、この周辺は観光の拠点と位置づけられており、観光客の安全・安心も保障されなくてはならない。

事故が発生する前に、緊急に対策を考えるべきであり、以下の三つの具休策を提案する。
①車輛の進入規制(朝夕の時間指定)
②時速30kmのスピード規制区域における取締りの強化
③観光客用駐車場の確保

市長 ①地元の意見を聴き、警察を通じて公安委員会に要望する。

②交通取締り・指導・巡回などを警察に要望する。

③将来の駐車場需要を想定し、必要な駐車場を確保したい。



中山忠光卿や高杉晋作をかくまった飛船問屋「大和屋政助」の船蔵(富海)

問 防府は維新の志士たちが闊歩したまちである。平成27年のNHK大河ドラマ「花燃ゆ」と4年後の維新150年に因んで「志士闊歩かるた」を制作することを提案する。

教育長 「かるた」の制作は、本市を全国へ発信する上で、まさに時宜を得たものであると同時に、市民もふるさとの歴史を学び、愛着を持ち、大切にすることを養う有効な手段となる。時期を失しないよう研究・検討したい。

国衙跡地の発掘調査及び整備状況について

安藤 二郎(絆)

問 国衙跡地の発掘調査及び整備状況について説明してください。

教育部長 昭和12年6月に国の史跡に指定、昭和61年、史跡公園として整備を完了、以後、平成21年までの23年間、調査保留の状況でした。

問 今後の政庁復元計画では、平成30年度に整備基本計画を、平成31年度に整備実施設計を作成、平成32年度から整備事業開始の予定です。

市長 私市長に就任する前の平成10年は、そういう状況までも及ばなかった。今後については、ここに建物を復元する計画を持つのか、そのまま眠ったままで上を工夫していくのか、といっ

たことをつまびらかにしていく責任があると理解しております。

意見 政庁の復元に本格的に取り組むという計画が提示されましたが、まずは、東京ドーム2つ分の広さを持つ国衙跡地を市民のコミュニティ広場として活用しましょう。その方法として、1つは、重源が東大寺に送った材木をそろえて、重源祭り、山口県産材大木材展を開催しよう。

問 もう1つは、防府市消防の大出初式をやろう。防府市消防こそ防府の元気の源泉です。ぜひ、この地から防府の元気を発信しよう。



政庁模型

「教育のまち日本一を目指す防府市の教育」にしよう

橋本 龍太郎(自由民主党一心会)

問 教育のまち日本一を目指しているが、「防府っ子」に求められる力についてのは。

市長 夢や志を持ち、心身の鍛錬を怠らず、信じる道を進む力や正義感あふれる優しい心を持った子供に育ってほしい。

問 英語教育で、使える英語にするために中学生による英語弁論大会を企画し、優秀者には語学留学させては。

市長 県教育研究会が弁論大会を開催し、市内生徒も参加しているとのこと。留学については、モニター市との交換留学生制度等を参考にしたい。

問 子供たちに故郷に誇りを持ってもらうために、吉田松陰先生をはじめとする県ゆかりの偉人教育ができないか。

教育長 県、市教委でそれぞれ道徳資料集を、人づくり財団でも偉人伝集を作成。これらを有効活



問 日本人としての誇りをもつためには、建国についてもっと学ぶべきではないか。

教育長 学習指導要領に基づき計画的に実施している。

問 子供たちの集団活動の中で、漁業・農業体験学習をさせてみては。

教育長 各学校に実施を働きかける。

問 若者に政治にもっと関心を持ってもらうために、市長や議員が出前講座を開催しては。

教育長 学習指導要領により、小学校では生活と政治について、中学校では公民分野で民主政治と政治参加について理解させることになっている。

AEDの管理方法について スポーツ指導者の資格制度について

清水 浩司(和の会)

問 AEDの管理方法と購入時の補助金について

市長 いざという時に一刻も早くAEDを使用することは非常に重要であり、AEDと共に実施する人工呼吸の方法について、分かり易いイラスト入りのマニュアルの整備を図りたい。AEDの設置場所は、屋内では必要な時にすぐ使えない可能性があることから、管理方法や防犯対策について研究し、屋外設置を検討したい。AED購入の補助金について、国、県及び本市では補助制度はないが、地域への設置普及は必要であると考えている。今後、AEDに関する様々な課題について検討してまいりたい。

問 スポーツ指導者の資格制度について、現場で指導するものは全員が講習を受けるべきか。

教育長 現在、スポーツ少年団の指導者は「各団



1名以上が認定員資格を持つこと」となれている。認定員の資格を取得することで指導者の資質が向上し、自分の経験だけで指導する例は少なくなると思われるが、競争性や技術性に集中し、勝利至上主義に至っている指導例も皆無とはいえない。市独自の資格制度を創設するためには資格を認定する仕組みが必要であり、先進事例を参考にして指導者が専門性の高いスポーツ理論を習得できる方法について検討してまいりたい。

市長の公約について 山頭火ふるさと館建設見直すべき

松村 学(自由民主党一心会)

問 この度の市長選挙で公約した事業の具体的な内容や時期についてどう考えているのか。

市長 継続事業以外では、土曜授業の月1回への順次拡大、大平山ロープウェイや山頂公園の改修計画等に着手する。小学校6年生まで所得制限なしの医療費無料化は、平成27年8月実施に向け、調整している。サッカーグラウンド建設は、平成27年の建設協議会設立に向けて候補地の選定など

行内で進め、美術館建設についても庁内の検討委員会を設置したい。野球場のナイター設備については、改修箇所の総点検を行う。

問 中学生までの医療費無料化を検討できないか。

健康福祉部長 小6までの無料化で財源は2億円程度必要であり、中学生まで拡大することについては、今後検討する。

問 夜間小児救急医療体制を確立することだが、先進地では365日24時間、専門的な小児科医の先生だけで構成する医療体制を取っているところもある。本市の考えはどうか。

健康福祉部長 休日診療所の利用等、関係機関と調整する。

問 山頭火ふるさと館建設を見直すべきという市民の声に市長としての考えは。他の著名人も含めて顕彰すべきでは。

市長 山頭火のみを顕彰する施設とする。

意見 大平山山頂公園にミニ動物園やミニ遊園地を整備し、休日、親子で遊べる魅力ある場所にするべきだ。

遊べる魅力ある場所にするべきだ。



老朽化したインフラの維持管理は「お弁当の日」の取り組みは

高砂 朋子(公明党)

問 防災・減災や国土強靱化への備えとして老朽化したインフラの保全整備、維持管理による長寿命化の対策が急務。①上水道管②浄化センター、汚水管渠③橋梁④道路について、老朽化対策をどのように行っているか。

市長 ①給水開始から63年、老朽化が進む管路の更新は年7km程度、耐震化率は平成25年度末で13%と順調に推移。年間約130件の漏水に24時間体制で対応し、突発的な発生抑制のため定期的な調査を実施。今後、新技術導入を含め効率的な予防保全に努める。②昭和55年に供用開始の浄化センターは、平成26年度から老朽箇所の工事に着手。汚水管渠は、平成24年度策定の長寿命化計画に基づき、対策を推進する。③市管理の725橋の健全度把握調査を行い、残りは230橋。④毎年

約200件の陥没に対応しているが、路面下には相当数の空洞化箇所が予想される。早期の発見、対策に万全を期す。

問 老朽化したインフラの適正な維持管理に対する基本的な方針は。

市長 従来の事後的な維持管理から予防的な維持管理へ転換し、防災・減災対策に取り組んでいく。

問 平成13年、香川県の小学校から始まった「お弁当の日」プロジェクト。年数回、子供たちが自主的に作ったお弁当を持参。食育に大変有効との評価が全国に広がっているが、

教育長 食生活の実践力を養う上で大きな意義が認められる。今秋、右田小学校でPTAを中心に実施予定であり、成果が期待される。

PTAを中心に実施予定であり、成果が期待される。



地域包括ケアシステムについて

山根 祐二(公明党)

問 独居高齢者が増え、特養等の施設は不足している。サービス付き高齢者向け住宅について伺う。

市長 本市では7事業所の登録があり、定員128名で月額11〜15万円程度の費用、現在20名分の空き。有料老人ホームでは定員465名で33名分の空き。今後も必要な施設として確保に取り組んでいく。

問 認知症行方不明者の現状と予防は。

市長 搜索願受理件数は、平成24年、25年が各10件、平成26年が5月末現在で2件あり、うち1件はまだ搜索中。予防には見守りが大事で、タクシーやバス、配達等の事業者へ啓発を続けていく。今後は、ご本人やご家族の同意のもと警察と連携し、高齢者の顔写真や特徴など記載した台帳の作成により体制整備に取り組みたい。

問 認知症施策推進5カ年計画への取り組みは。
市長 認知症地域支援推進員を高齡福祉課に配置した。地域包括支援センターと連携し、医療と生活支援サービス強化を図っていく。また、地域や家族への支援強化として認知症サポートナー養成講座や地域ケア会議の開催がある。認知症サポートナーは平成25年度末現在、1、771人で、本市職員も全員受講を目標としている。地域ケア会議では認知症理解のための教材が必要との意見があり、啓発DVDを作成し、公民館等へ配布した。未実施のものには、認知症ケアパスの作成や認知症初期集中支援チーム配置があるが、平成29年度までに取得し、組織していきたい。



男性の育児休業取得について 情報モラル教育について

久保 潤爾(無所属の会)

問 市は男性の育児休業取得率の向上について、その重要性をどのように認識しているか。

市長 大変有意義であること認識している。しかし、市としては取り組みが遅れており、国の動向を注視し、県や関係機関とも連携して積極的に推進していきたい。

問 育時休業法改正後の市職員の育児休業取得状況は。

総務部長 男性が2名で女性34名である。
問 男性の取得者が少ないことをどう考えるか。
総務部長 男性が取得しづらいということではないと思うが、男女共同参画の意識の向上についての啓発は必要と考える。

提言 他自治体では、組織を挙げて取り組んでいるところもあるのだから、前向きに取り組んでいただきたい。



介護保険制度の見直しによる影響は 中学生までの医療費無料化を

山本 久江(日本共産党)

問 国の介護保険制度見直しは、利用者や事業者等から疑問や不安の声が上がっている。要支援者への訪問介護と通所介護を市の事業に移すことへの影響をどう考えるか。

市長 市の認定者のうち約3割が影響を受ける。サービスの市町村格差や質の確保も課題といった意見もあるが、事業者等関係者と十分な協議が必要と考えている。

問 特養入所の対象が原則要介護3以上となるが、入所希望の要介護者への対応を今後どう進めるのか。
市長 要介護1・2であっても、特別な理由がある場合、入所できるとされているが、今後、住宅介護サービスの充実や地域包括ケアシステムの構築など総合的に対応策に取り組みしていきたい。

問 中学生までを対象とした医療費無料化に取り組めないか。
市長 平成27年度中に、全ての小学6年生までを対象に無料化を進める。中学生までについては、来年度以降、しっかりと事業の検証をし、検討したい。



問 保育所への同時入所の場合、2人目以降保育料を無料にできないか。
市長 新たな制度全体の中で、今後検討したい。

問 法制定を受け、消防団員の処遇改善を進める必要があるのでは。
消防長 今後消防団の役割もさらに大きくなることから、団員の処遇改善について検討しているところである。

問 老朽化した消防器庫の改修をどう進めるか。
消防長 消防団活動に支障が生じないように、早めの対応に取り組みたい。

観光宣伝について 留守家庭児童学級の拡充について

藤村 こそえ(和の会)

問 観光を一過性のものに終わらせることなく持続的に発展させるためには、観光客をリピーターにしていくという観点からのプロモーション策を考えることが重要である。

平成27年、NHK大河ドラマ「花燃ゆ」の舞台となる本市では、独自性を活かした観光宣伝を全国に発信できるチャンスである。現在、どのような宣伝が行われているか。

市長 本市には「幸せます」など良好なイメージを持つブランドがありながら、告知、宣伝活動については費用の面から踏み切れなかった部分があるが、「花燃ゆ」に合わせ、思い切った観光情報の発信を行いたい。マスコミを通じて費用をかけない宣伝が最上と考えるが、旬の情報については旅行雑誌、JR構内や車内等で広告を掲載している。

BCMの効果は絶大である。また、近年、宣伝媒体として話題を集める車両ラッピングを定期観光バスに取り入れてみてはどうか。

市長 定期観光バスのラッピングは効果があると考えられるので、防長と協議する。テレビCMについては、現在、観光CMの制作に向けて検討しており、防府ならではのユニークな情報盛り込みたい。

問 平成27年度に子ども子育て支援新制度がスタートし、さらに多くの希望者が増える可能性がある。留守家庭児童学級の現状と今後の取組みは。

健康福祉部長 小学校の児童数は減少傾向ではあるが、保護者の就労状況や対象学年の拡大により希望者の増加が想定されるので、各校区の状況把握に努め、施設整備等に努めてまいりたい。

新エネルギービジョンの策定、 公共施設の整備計画などについて

吉村 弘之(自由民主党一心会)

問 市環境基本計画における新エネルギー普及の導入目標と達成に向けた取り組み状況は。

生活環境部長 新エネルギー導入に関する補助金利用件数の目標を達成し、確認年度の平成27、32年度共に年間300件としている。実績は平成24年度が404件、平成25年度が461件と目標を上回っており、今後も推進していく。

問 新エネルギーに特化した計画の策定としてはどうか。

市長 市の公共施設は老朽化率が全体で61.7%と高い状況であるが、何が最優先課題と考えているのか。

共施設を現行どおり保有していくと費用が膨大となり、極めて大きな課題と認識している。平成26年度は方向性を決める公共施設マネジメント基本方針を策定したい。

問 新市庁舎の位置については。

市長 平成27年度から策定に着手予定の基本構想・基本計画の中で位置を検討し、早ければ平成31年度には着工したい。

問 女性が働きやすい環境整備は。



防府市役所

甘い行政評価の改善を 事業系廃棄物の受け入れについて

田中 健次(市民クラブ)

問 行政評価で、事務事業評価569事業中、拡大1、維持継続534、維持改善34、縮小・休止・廃止がゼロでは行政評価とは言えません。

市長 一定の基準に基づき評価しています。評価手法の精度を高めます。

意見 94%が維持継続という甘い評価では市は発展できません。改善すべきです。

問 行政評価の公表時期は、9月議会の決算審査に間に合いませんか。

生活環境部長 本市では、事業系ごみの排出量は増加しており、新ごみ処理施設稼働を契機に、4月から産業廃棄物は原則受け入れないことを基本としています。しかし、排出業者が自ら搬入する一定量以下のものに限り、受け入れています。

搬入方法の変更については、事業者の理解を得るため、説明会開催、事業者への手引き配付、市広報等で周知に努めています。

要望 中小企業者の負担増、不法投棄増などが懸念されるので、今後十分に調査、把握してください。



市長選の在り方について、区画線について 頭上落下物の防止について

和田 敏明 (改革の会)

問 5月に実施された市長選挙は、とても酷い内容で、これが次期市長を決める選挙かと思うと、情けなく感じた。低次元の選挙戦を多くの方々に露呈した事をどのように感じられ、また、本来は、どのように在るべきと思われたか。

市長 選挙というものは、相手を誹謗・中傷するものではなく、政策を論点として展開されるものでなければならぬ。

問 県の指定病院等における不在者投票については、入院患者個々の方に分かり易く説明するよう病院等に指導すべきでは。

選挙管理委員会事務局長 今後、効果的な周知方法がないか検討したい。

問 区画線について、過去2回の質問が活かされず、センターラインすら復元されていない。発注方法の検討結果は。また、平成26年度予算で全て復

元されるのか。

土木都市建設部長 前期と後期の工事期間を重複させることとした。予算については、全てを復元することは不可能である。

問 予算が無ければ、市民の安全は少しくらいおろそかになってもいいのか？「すぐにやりましょう」と回答できないか。

土木都市建設部長 限られた予算の中で、早期復元に努めたい。

問 頭上落下物防止のため、樹木ごとの個票等を作成して専門家による調査を行い、危険な樹木に対処して、誰もが安心・安全に通行できる「歩行空間」を確保しては。

土木都市建設部長 大変有効な手法であり、安全面・景観面でも多大な効果がある。と考



今回の選挙における市長の主張にあった 市議定数削減について

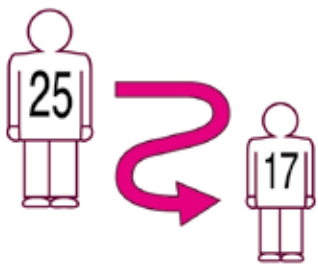
中林 堅造 (和の会)

問 市議定数削減について、いかなる覚悟で主張されたのか。

市長 4年前の市長選挙で議員定数半減を公約に掲げ御負託を頂いた。直後の6月議会で議員定数27名を13名とする条例改正案を上程したが、継続審議となり、9月議会で否決された。その後3万5、578名の市民の署名のもと、定数を17名とする直接請求が行われ、平成23年1月の臨時議会に17名とする条例改正案を上程。これも継続審議となり、3月議会において否決された。議会では定数については「議会自らが決める」とされた。最終的には平成24年6月議会で、定数25名とする議員提案が可決され、現在に至っている。3万5、000名以上の署名が有効と認められ、直接請求された10名減の定数17名が、私は民意と想ってい

る。1市5町が合併された山口市では、合併前に100名であった議員数だが、現在34名となっている。

22年後に市制100周年を迎える防府市が、合併新市に優るとも劣らないふるさとを築いていく上で、議会の改革は聖域ではないと考えている。また市民もさつお考えだと思っている。ゆえに市議定数削減は市民の声と掲げた。ホールは議会に渡っていると思ってい



総合交通体系調査特別委員会の報告

(4月25日開催)

4月25日に開催された本委員会では、まず、新たな交通サービス導入について執行部から説明を受け、質疑を行いました。

「対象地域の懇話会で、デマンドタクシー、「ミニニティタクシー、グループタクシーの3つの手法を説明したとのことだが、富海の協議状況はどうか。」との質疑に対し、「1回目の懇話会でデマンドタクシーに関心を持たれたことから、2回目には運行ダイヤなどを示した導入案を提示し、踏み込んだ議論を行います。住民にとつてのデマンドタクシーの必要性を調査してほしいとの意見がありましたので、アンケートを実施する予定にしております。」との答弁がございました。また、「運行開始の用途はいつ頃か。」との質疑に対しては、「できれば、夏までには方向性を決め、運行計画策定、地域公共交通会議での承認を経て、補正予算または平成27年度当初予算に委託料等を計上し、事業を進めていくこととなります。」との答弁がございました。

続いて、バス停の名称変更及び新設等について、市内3カ所のバス停の名称を利用者にわかりやすく変更したことで、向島に新たな停留所を設けたことなど説明がありました。市内のスーパー4店舗で実施するサイクル・アンド・ライドについては、「今後利用者が見込め、バス停に近い店舗があれば、協力をお願いし、促進してまいります。」とのことでした。

また、「バス停から400m以上離れた、いわゆる交通不便地域の存在を課題と受け止め研究してほしい。」との要望もありました。



— 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否No.	平成26年6月定例会	党派・議員名(※議長は除く)																	賛否の合計		議決結果								
		自由民主党 一心会					和の会					絆				公明党			日本共産党	改革の会		市民クラブ	無所属の会	賛成	反対				
		上田	橋本	松村	安村	吉村	今津	清水	田中敏	中林	平田	藤村	安藤	河杉	重川	三原	山田	高砂	山下	山根		木村	山本			和田	田中健	久保	
1	市税条例等の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	21	3	原案決 可決	
2	水道、工業用水道、公共下水道事業設置等条例の改正	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	14	10	原案決 可決
3	副市長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	16	8	同意
4	雇用の安定・安心を求める意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	×	—	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	17	6	原案決 可決

議会モニターからの意見

モニターから寄せられたご意見を要約して紹介します。詳しくは議会ホームページをご覧ください。

通信内容	議会の回答
<p>市議会だよりNo.33の「議会報告会」のページを見ました。「詳しくは、議会ホームページをご覧ください。」とありましたが、ホームページにはプログラム・資料も、結果報告も見当たりません。市議会だよりは紙面での情報量に制限があり、詳しく知りたいという市民の要望に対しては、ホームページでしっかり補完することを徹底していただきたいと思えます。</p>	<p>昨年11月開催の議会報告会に関して、ホームページにプログラム・資料、結果報告を掲載しておりませんでした。ご指摘を受け、ただちに掲載させていただきました。</p>
<p>市議会だよりNo.33では、「平成26年度一般会計予算」について、「焦点」として「山頭火ふるさと館整備事業」をとりあげ、賛否の意見をわかりやすくまとめられていますが、その他の意見の掲載がなく、「山頭火ふるさと館整備事業」だけが争点のような印象を受けました。</p> <p>また、「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」が示されていますが、「平成26年度一般会計予算」以外の議案については、どのような討論があったのかも分かりません。</p> <p>市議会だよりは、市民にとって大切な情報源です。なかなかインターネットの録画中継までは確認できない方も多く、会議録も掲載までに時間のずれがあることから、最新情報を得る唯一のものである場合もあります。ぜひ、そのことをご認識の上、わかりやすさとともに正確な広報を工夫していただければと思います。</p>	<p>市議会だよりNo.33の紙面には、ご指摘のとおり、「平成26年度一般会計予算」の討論で「山頭火ふるさと館整備事業」に関するもの以外の反対意見を掲載しておりませんでした。</p> <p>すべてを掲載することは、限られた紙面の都合上難しく、やむを得ず省略する場合はご理解ください。しかしながら、どのような議論がされたかをお示しすることは重要であり、今後は可能な限り、賛否の意見を掲載するよう努めてまいります。</p>

「中小企業振興基本条例」制定に向けて

現在、中小企業振興基本条例検討協議会では、市内中小企業振興のための条例制定に向けて協議を重ねています。

防府市が将来にわたり持続可能な特色ある地方都市として発展を続けるためには、中小企業者、大企業者、関係団体、市民、そして市が、中小企業の果たす役割の重要性を理解し、協働して取り組むことが必要不可欠であり、条例の制定は地域経済を活性化し、豊かで住みよいまちづくりの推進に寄与するものと期待されています。

協議会では、6月以降、環境経済委員会と合同で、市内の(株)岡虎、(株)銘建、三田尻化学工業(株)を訪問し、様々な現状を知ることができました。ご協力くださいました各社に心からお礼申し上げます。



議会報告会各地区参加人数

地区名	人数(人)	担当班
富海	19	1班
牟礼	39	3班
勝間	24	4班
松崎	38	2班
華浦	8	2班
新田	38	2班
向島	33	1班
中関	10	1班
西浦	38	3班
華城	22	4班
佐波	24	1班
小野	27	2班
右田	29	3班
大道	31	3班
野島	27	4班

6月6日から13日まで、議員が4班に分かれ、市内15地区で開催しました議会報告会では、各地区自治会のご協力のお蔭をもちまして、407名にご参加いただきました。心からお礼申し上げます。貴重なご意見、ご要望等は、取りまとめが終了次第、市議会ホームページや本紙面にてご報告いたします。

※班別議員は次のとおりです。

- 1班 行重延昭・清水浩司・中林堅造・橋本龍太郎・山下和明・山田耕治・山本久江
- 2班 重川恭年・今津誠一・上田和夫・河杉憲一・安村政治・山根祐一
- 3班 田中健次・安藤二郎・木村一彦・平田豊民・藤村こすえ・吉村弘之
- 4班 高砂朋子・久保潤爾・田中敏靖・松村孝・三原昭治・和田敏明

議会報告会へのご参加ありがとうございました



防府市議会の 議会改革度は・・・

日本経済新聞社産業地域研究所による全国813市区を対象にした第3回議会改革度調査（本年4月1日現在）の結果が、「日経グローカル」No.246（6/16）で公表されました。

防府市議会の議会改革度は、情報公開度190位、住民参加度13位、議会運営改善度20位の総合23位という評価をいただきました。この評価は、中国・四国・九州地方では3位になります。

これからも、「市民に開かれた議会」、「市民と協働する議会」を目指し、議会改革に一層努めてまいります。

「政務活動費」について

本市では、毎年4月1日における各党派所属議員数に年額25万円を乗じた額が、議員の調査研究等のための政務活動費として会派に交付されています。

政務活動費を充てることが出来る経費の範囲や使途基準等は、「市議会政務活動費の交付に関する条例」によって明確に定められており、全議員が規定に従って適正に使用しています。

毎年度末には、領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残余があれば返還します。収支報告書は、市議会ホームページ等で公表しています。

「所管事務調査」について

市議会では、全議員が、総務委員会、教育厚生委員会、環境経済委員会の3常任委員会のいずれかに所属し、議会開会中は所管の議案等の審査を行います。開会中は、各委員会が決定した調査項目を継続して調査しており、これを「所管事務調査」と言います。

これまでの調査項目は次のとおりです。

環境経済委員会				教育厚生委員会			総務委員会										
企業立地	都市計画の見直し	観光振興	雨水排水対策	農業振興	中小企業振興	清掃事業	介護保険制度	子ども・子育て支援新制度	文化財事業	学校教育	青少年科学館・天体観測施設	体育施設	公共施設マネジメント	山頭火ふるさと館の整備	地域主権改革	防災危機管理	行財政経営改革

議会日誌

5月

- 7日 会派代表者会議
- 8日 議会改革推進協議会
環境経済委員会(所管事務調査)
- 14日 議会改革の視察受け入れ(京都府城陽市)
- 26日 全員協議会
- 27日 議会改革推進協議会
- 29日 全員協議会

- 7日 予算委員会(全体会)
- 8日 常任委員会・予算分科会(総務、教厚、環経)
- 11日 予算委員会(全体会)
全員協議会
- 16日 6月定例議会閉会
広報編集委員会
- 18日 広報編集委員会
- 23日 議会改革推進協議会
- 24日 中小企業振興基本条例検討協議会・環境
経済委員会現地視察
- 25日 議会運営委員会
- 29日 議会運営の視察受入(大阪府高槻市)
- 30日 議会改革の視察受入(福岡県大牟田市)
広報編集委員会

6月

- 4日 中小企業振興基本条例検討協議会・環境
経済委員会現地視察
議会報告会(勝間)
- 5日 議会報告会(牟礼・松崎)
- 6日 議会報告会(富海)
- 7日 議会報告会(野島)
- 9日 議会報告会(新田・右田)
- 10日 議会報告会(中関)
- 11日 議会報告会(華城・小野・大道)
- 12日 中小企業振興基本条例検討協議会・環境
経済委員会現地視察
議会報告会(佐波・華浦)
- 13日 全員協議会
議会報告会(向島・西浦)
- 19日 勉強会(補正予算等)
- 20日 議会運営委員会
- 25日 6月定例議会開会
広報編集委員会
- 30日 本会議(一般質問)

9月定例議会の予定

- 9月 2日 本会議(開会)
- 4日 上下水道事業決算特別委員会
- 8日 本会議(一般質問)
- 9日 本会議(一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 11日 本会議(一般質問)
- 16日 予算委員会(全体会)
- 17日 常任委員会・予算委員会分科会
(総務・教育厚生・環境経済)
- 19日 一般・特別会計決算特別委員会(総務)
- 22日 一般・特別会計決算特別委員会(教厚)
- 24日 一般・特別会計決算特別委員会(環経)
- 26日 予算委員会(全体会)
- 10月 2日 本会議(開会)

会議の開会時刻は、午前10時です。
 なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
 詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

7月

- 1日 本会議(一般質問)
- 2日 本会議(一般質問)
- 3日 本会議(一般質問)
議会運営委員会

編集後記(表紙の説明)

今回の表紙は、6月定例議会
 審議された一般会計補正予算の
 うち、主要事業である「大河ドラマ
 誘客おもてなし事業」について、
 PRを兼ねてご紹介するもの
 です。

大河ドラマ「花燃ゆ」の放送開
 始まで余すところ4か月となりま
 したが、ドラマの主人公である
 「文」役の井上真央さんをはじめ、
 「文」を取り巻く主要人物のキャス
 トの皆さんの活躍が期待されます。
 この事業を成功に導くために
 は、市民の皆様と心をひとつにし
 て、本市を訪れる方々をおもてな
 しすることが何よりも大切である
 と考えております。どうぞご理解
 とご協力を賜りますようお願いし
 ます。

また、ご意見やアイデアなど
 がございましたら、是非、議事
 事務局、または、おもてなし観光課
 までお寄せください。

議会広報編集委員会

◎今津誠一 ○安村政治

河杉憲一 松村 学

高砂朋子 清水浩司

(◎)委員長 (○)副委員長